

法政大学との空き家にかかわる連携事業（案）

1. 背景

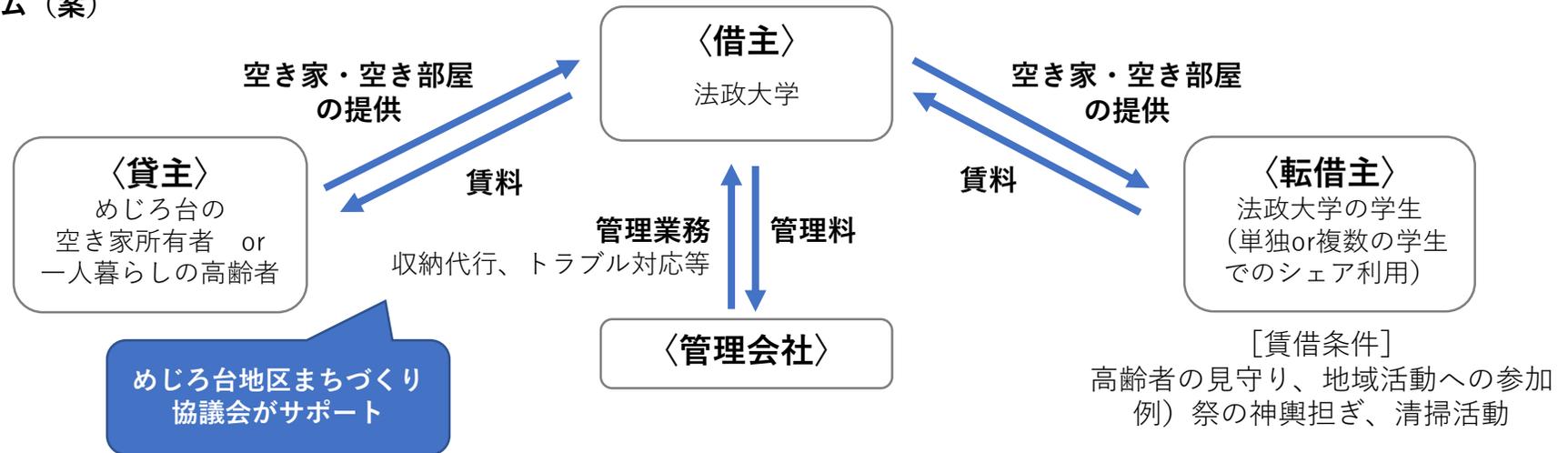
○法政大学

- ・体育会の機能を八王子に集約することで学生が増加し寮が不足する見込み（関係者外秘）。寮を追加で建設するにも限界があり、受け皿が必要
- ・入寮費用も月額8万～9万となり、保護者の負担感も大きいいため、低廉な賃料で住む場所も必要

○めじろ台団地

- ・一戸建ての空き家が急増
- ・広い戸建てが多いものの、高齢者には2階の管理や清掃の負担が大きい。独居の高齢者も増加
- ・空き家の増加は防犯面や景観面からも懸念
- ・地域活性化のため、若い世代の受入れを期待

2. スキーム（案）



3. 課題

○貸主

- ・低廉な賃料（2万～3万）への抵抗感、契約期間
- ・貸す前に修繕が必要な場合もあり
- ・セキュリティーが不安（空き家の場合OK）
- ・学生の質（生活リズムの相違、騒音） →ルール作りが重要

○借主（大学）

- ・物件と学生のマッチング
- ・学生との契約管理

4. アイデア

- ・入寮した学生の食事サポート 地域の飲食店で学生証を提示すると割引などのサービス提供